

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀市立嘉瀬小学校
1 前年度 評価結果の概要	・嘉瀬小のよさ・強みである地域連携を生かして、引き続き児童の知・徳・体の育成に努めた。地域教育コーディネーターと連携し、開かれた教育課程の拡充を図った。来年度は学校と地域の役割分担をさらに明確にし、そのうえで目的意識を持った地域とのより一層の交流を進めることで、児童の主体性や地域への愛着を育てたい。
2 学校教育目標	ふるさと嘉瀬を愛する青藍の子の育成 ～だれ一人取り残さない！学び続ける学校～
3 本年度の重点目標	・学力向上や一人一人を大切にしたい学校をめざし、家庭と連携しながら、学校全体で学習環境を整える。 ・目指す子ども像に向かい、「SDGｓ教育」の視点を取り入れ、楽しい授業やわかる授業をめざして授業改善を図る。 ・地域への愛着を育成するため、既存の嘉瀬小ボランティアネットワークと連携しながら、持続可能な地域ネットワークを構築する。 ・職員の心身の健康を守り、児童の学びを止めないために、組織力向上と働き方改革の推進を図る。

4 重点取組内容・成果指標				5 最終評価						主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ・学習規律の定着 ・学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○学力向上対策評価シートに示した成果指標を達成した教師90%以上 ○児童の考えを引き出す授業を実践し、児童アンケートで自分の考えを表現できたかの質問に対し、肯定的な回答をした児童85%以上 ○学習状況調査及びCRTで県平均以上 ○保護者評価で、「家庭学習強化週間の取り組みを理解し、認めたり褒めたりしながら協力することができた」に対して、肯定的な回答をした保護者80%以上	・教職員間で共通実践を共有し、日常的に取り組み内容を情報交換する。 ・全校立腰に取り組むことで、学びに向かう習慣づけをはかる ・自分の考えを表現し、進んで学び合うことができる授業をめざして、考えを引き出す工夫やつなぐ手立てを行う。 ・年に3回の全校授業研究会を実施する。 ・家庭と連携した家庭学習の充実を促す。 ・学習状況調査結果を分析し、問題把握や課題解決に向けて、情報を整理する力、読み取る力などを伸長する方策を実践する。 ・タブレットを使った個別最適な学習実践を行う							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○友達に関するアンケートで肯定的な回答をした児童85%以上。 ○道徳科の授業に関するアンケートで肯定的な回答をした職員85%以上。	・友達の良さを認める活動や人権教室を充実させ、友達を思いやる豊かな心の教育を実践する。 ・年間を通して、職員による「パワーアップ名人の推薦」を実施し、目指す子ども像『五青藍』の具体的な言動を賞賛する。(全児童一人2回以上) ・SDGsの視点から、平和や命の大切さを考える講演会・ふれあい道徳を開催する。							
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「いじめの対応に関するアンケートで肯定的な回答をした職員90%以上。	・いじめを早期発見、解決するため、毎月アンケートを実施し、全職員で情報共有し初期対応に努める。 ・保護者や専門機関と連携し、早期対応をめざす。							
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・連絡会の時間等を活用して、児童生徒の資質・能力を育む授業づくりに関する情報交換を行う。 ・各種体験活動では、地域の「人・もの・こと」を活用するとともに、児童生徒に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組む。 ・授業だけでなく、教育活動全体で生徒指導の機能を生かした取り組みを行い、実践交流の研修を行う。							
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上	・歩いて登下校することの良さ、大切さを児童だけではなく、保護者にも伝えていく。 ・昼休み等に体を動かすことができるよう、体育委員会や学級の係活動等での取り組みを行う。 ・たて割り活動で、運動を楽しむ場を設ける。 ・スポーツチャレンジへの参加を推奨する。							
	②「望ましい生活習慣の形成」	②早寝・早起き・朝ごはんの家庭への啓発を強化し、達成できた児童80%以上。	・保健便りや給食便り等を通して、早寝・早起き・朝ごはんの効果を啓発する。 ・学校栄養職員や養護教諭が連携し、学級活動や教科指導などで食の大切さや健康についての意識向上を図る。							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○業務改善に関するアンケートで「具体的な取り組み」に対して肯定的な回答をした職員80%以上。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・業務の平準化とICT活用(データ共有) ・職員アンケートを基に、学校全体で、時間外業務内容の1項目以上の削減を実施する。 ・タイムマネジメントに関する職員研修の実施。							
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上員の理解を図る。	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員90%以上	・教室等のUD化について理解し、教室環境を整える。 ・児童への関わりと対応について、外部講師による職員研修を実施。 ・自立活動の研修の機会を設定し、自立活動の授業公開及び研修会を行う。							
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○地域連携	◎児童が地域の良さを語り、夢や希望の実現に向けて主体的・意欲的に取り組もうとするための教育活動を行う。	◎「嘉瀬町が好きですか」等の調査で、肯定的な回答をした児童が80%以上。 ◎「目標(夢)を持ち、見通しをもって粘り強く取り組むことができたか」等のアンケートで、肯定的な回答をした児童が80%以上。	・学校HP「かせっこSDGs」コーナーを週に1回更新し、各学年の主体的・意欲的な取り組みを発信する。 ・KSVNの組織を活性化し、日常的な学習活動に、地域の方との交流を組み込む。							

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------